

新幹線50k900付近さがみ縦貫道新設 架設工事

Erection Work for Sagami Jukan Expressway near 50 k 900 of Shinkansen



橋本達也*¹
Tatsuya HASHIMOTO



吉田友和*²
Tomokazu YOSHIDA

本工事の事業主体は、国土交通省関東地方整備局（将来的な管理はNEXCO中日本）でさがみ縦貫道と東海道新幹線、JR相模線が交差する箇所の上部工架設工事である。

線路上空での架設工事のため、3径間連続鋼床版箱桁橋の内、新幹線に影響のある2径間については国土交通省からJR東海に工事を委託している。

桁の製作工事は、国土交通省よりJR東日本に委託され、JR東海に支給される。

本工事の特徴としては

- ・地上20m以上の高所での架設作業である。
- ・東海道新幹線とJR相模線への近接作業でそれぞれに作業制限がある。
- ・夜間き電停止時間が約100分と短く、綿密な工程計画と準備が必要であることと、各線路がJR東日本、JR東海と管理が異なるため、協議・調整が複雑である。
- ・作業時間が短いため、桁の送出しから横取り、降下まで約2か月半かかり、線路上空での作業が長期間に渡る。
- ・桁は、曲線桁で桁の組立精度、送出し時の位置管理等、架設難易度が高い。

上記の特徴から本工事は計画、技術、品質、安全管理等十分に配慮が必要な工事である。

2012年12月より送出し軌条の組立を行い、2013年9月に下り線の桁送出し、同年11月に桁横取り、12月に桁降下を無事完了させた。

上り線に関しても下り線同様手延べ送出し工法による施工であったが、桁送出しは2014年2月、桁の降下完了は同年4月に無事に完了した。

また側径間の架設はクレーンベント工法によるが、2014年6月より開始し7月末に桁架設完了、引き続き鋼床

版溶接、塗装、壁高欄施工を行い2014年12月に引き渡し予定である。



写真-1 下り線桁送出し前



写真-2 第1回桁送出し完了



写真-3 下り線桁送出し完了

*¹ 建設事業本部 建設工事本部工事部工事グループ

*² 建設事業本部 工務・計画本部計画部計画グループ サブリーダー